

言語文化				
E	組	番	氏名	複数の作品を読み比べ、古典文学作品が「どのように」書かれているか考えよう

筆者が本文で伝えようとしている「その人」の「ものあはれ」を強調するために、筆者は「どのように」工夫しているだろうか。な振る舞いをより

1 最初の考え（2時間目に使用）				



2 この単元の振り返り（4時間目に使用）				

番 名 前

## 批評文を書いてみよう

作業手順		
③	②	①
★チャレンジ問題★ 「3」を埋めてみよう。 「ここはこう改 善したらもっと良いの！」と批判的視点で評価するものもありません。「ここはこう改 善したらもっと良いの！」と批判的視点で評価するものもありません。また、「さ らにこんな工夫も見られるのではないか」というものもあれば記述してOKです。	「1」と「2」に適切なことばを記入し、批評文を完成させる。	AまたはBを選択し、○をつける。

選択	
B	A
「九月二十日のころ」と「月やあらぬ」について	「九月二十日のころ」と「筒井筒」について

批評文
「九月二十日のころ」で筆者は「1」（という）工夫をす ること【2】（という）効果をあげている。さらに【3】（とい う）ことも考えられる。

【1】

【2】

【3】 (チャレンジ問題)